

農山漁村地域整備計画における事後評価

【整備計画の概要】

計画の名称	第2期 鹿児島県森林基盤整備(内地)計画
計画策定主体	鹿児島県
対象市町村	鹿児島市, 日置市, いちき串木野市, 枕崎市, 指宿市, 南さつま市, 南九州市, 阿久根市, 出水市, 薩摩川内市, さつま町, 長島町, 霧島市, 伊佐市, 姶良市, 湧水町, 鹿屋市, 垂水市, 曾於市, 志布志市, 大崎町, 東串良町, 錦江町, 南大隅町, 肝付町(25市町村)
計画の期間	平成27年度～令和元年度(5年間)

【整備計画の目標の実現状況等】

1 交付対象事業の進捗状況

【治山】 整備計画に位置づけた事業量については、計画どおり達成した。
(整備計画)

・溪間工 18基 ・山腹工 8.31ha

(整備実績)

・溪間工 18基 ・山腹工 8.49ha

【森林整備】 計画事業量について、計画期間内に概ね達成した。進捗率82.9%(事業費ベース)
(整備計画)

・林道整備(開設6,373m, 林道改良863m, 林道舗装4,354m, 点検診断20箇所)

(整備実績)

・林道整備(開設4,515m, 林道改良863m, 林道舗装4,144m, 点検診断20箇所)

2 事業効果の発現状況

【治山】 荒廃危険山地において、治山事業を実施したことにより、山地災害危険地区の着手率が向上した。

【森林整備】 森林整備の基盤となる骨格的な林道を整備したことにより、木材安定供給体制の構築が図られた。

林道の改良・舗装及び林道における重要な施設の点検診断・保全整備を実施したことにより、林道施設の機能強化と長寿命化が図られた。

3 成果目標の目標値の実現状況

項目	単位	目標値	実績値	
【治山】 山地災害危険地区着手箇所	地区	36	61	目標値を達成した。
【森林整備】 素材(木材)生産量の向上	千m ³	749	1,197	目標値を達成した。

4 今後の方針

第3期計画(R2～R6)に沿って、目標の実現に向けて引き続き事業を推進する。

農山漁村地域整備計画における事後評価

【整備計画の概要】

計画の名称	第2期 鹿児島県森林基盤整備(離島)計画
計画策定主体	鹿児島県
対象市町村	三島村, 十島村, 薩摩川内市, 出水市, 長島町, 西之表市, 中種子町, 南種子町, 屋久島町(9市町村)
計画の期間	平成27年度～令和元年度(5年間)

【整備計画の目標の実現状況等】

1 交付対象事業の進捗状況

【治山】 整備計画に位置づけた事業量については、概ね計画どおり達成した。
(整備計画)
・溪間工 7基 ・山腹工 0.94ha
(整備実績)
・溪間工 7基 ・山腹工 0.92ha

【森林整備】 計画事業量について、計画期間内に概ね達成した。進捗率94.8%(事業費ベース)
(整備計画)
・林道整備(開設2,802m, 林道改良1,529m, 林道舗装2,083m, 点検診断4箇所)
(整備実績)
・林道整備(開設2,422m, 林道改良1,771m, 林道舗装2,093m, 点検診断4箇所)

2 事業効果の発現状況

【治山】 荒廃危険山地において、治山事業を実施したことにより、山地災害危険地区の着手率が向上した。

【森林整備】 森林整備の基盤となる骨格的な林道を整備したことにより、木材安定供給体制の構築が図られた。
林道の改良・舗装及び林道における重要な施設の点検診断・保全整備を実施したことにより、林道施設の機能強化と長寿命化が図られた。

3 成果目標の目標値の実現状況

項目	単位	目標値	実績値	
【治山】 山地災害危険地区着手箇所	地区	7	11	目標値を達成した。
【森林整備】 素材(木材)生産量の向上	千m ³	50.0	47.1	おおむね目標値を達成した。

4 今後の方針

第3期計画(R2～R6)に沿って、目標の実現に向けて引き続き事業を推進する。

農山漁村地域整備計画における事後評価

【整備計画の概要】

計画の名称	第2期 鹿児島県森林基盤整備(奄美)計画
計画策定主体	鹿児島県
対象市町村	奄美市, 大和村, 宇検村, 瀬戸内町, 龍郷町, 喜界町, 徳之島町, 天城町 (8市町村)
計画の期間	平成27年度～令和元年度(5年間)

【整備計画の目標の実現状況等】

1 交付対象事業の進捗状況

【治山】 整備計画に位置づけた事業量については、概ね計画どおり達成した。

(整備計画)

・溪間工 1基 ・山腹工 1.62ha

(整備実績)

・溪間工 1基 ・山腹工 1.56ha

【森林整備】 計画事業量について、計画期間内に概ね達成した。進捗率89.9%(事業費ベース)

(整備計画)

・林道整備(開設1,413m, 林道改良1,179m, 林道舗装14,232m, 点検診断5箇所)

(整備実績)

・林道整備(開設1,421m, 林道改良855m, 林道舗装12,032m, 点検診断4箇所)

2 事業効果の発現状況

【治山】 荒廃危険山地において、治山事業を実施したことにより、山地災害危険地区の着手率が向上した。

【森林整備】 森林整備の基盤となる骨格的な林道を整備したことにより、木材安定供給体制の構築が図られた。

林道の改良・舗装及び林道における重要な施設の点検診断・保全整備を実施したことにより、林道施設の機能強化と長寿命化が図られた。

3 成果目標の目標値の実現状況

項目	単位	目標値	実績値	
【治山】 山地災害危険地区着手箇所	地区	11	15	目標値を達成した。
【森林整備】 森林整備面積	ha	2,000	2,848	目標値を達成した。

4 今後の方針

第3期計画(R2～R6)に沿って、目標の実現に向けて引き続き事業を推進する。